

メイキットのルール

ルールを1文で言うと：3種類のカードを組み合わせ、まちを面白くするアイデアをたくさん思いついたら勝ち

●プレイ人数

・1グループ3人~6人 *ゲームマスター1名がいることが望ましい

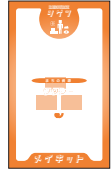
●カードの種類

「まちの声」カード



28枚 + α

「まちの資源」カード



59枚

「まちの魅力」カード



プレイヤーが追加

●まち歩きによる「まちの声」「まちの魅力」の追加

ゲーム開始前のまち歩き(60分~90分程度)での発見をもとに、ゲームで使用する「まちの声」カードと「まちの魅力」カードを追加することができます。

「まちの声」カードの追加

まち歩きでの”発見”をもとに、白紙の「まちの声」カードに、具体的な台詞(セリフ)とその発言主となる人を記載して、「まちの声」カードの束に加えます。

例:まちの声”商店街の中に、気軽に休憩できる場所あったらなあ”(「地域の人」の声)

「まちの魅力」カードの追加

まち歩きで見つけた魅力は、「まちの魅力」カードに内容を記載します。(撮影した写真を貼ってもよいです)

例:〇〇店のおもしろ看板、レトロ喫茶、〇〇店のおばちゃん

●ゲーム準備

「まちの声」カードはよくきって、裏返しにして場において、「まちの声」山札とします。

各プレイヤーには手札として「まちの資源」カードを3枚配り、残りは裏返しにして「まちの資源」山札として場におきます。「まちの魅力」カードはよくきった後に、プレイヤー全員にわかるように3枚を表にし、残りは裏返しにして「まちの魅力」山札とします。プレイヤーの中から、適当に1人を選んで最初の手番の人を決め、その後は時計回りに順番を回します。

●ゲームプレイ

1. 手番の人は「まちの声」カードを1枚めくり、手札の「まちの資源」カードを1~3枚使って、記載された「まちの声」に応えるアイデアを発表し、説明します(この時、発表するアイデアがまとまった時に「メイキット!」と宣言します)。この時、場に出ている「まちの魅力」カードを1枚まで使用することができます。

2. 残りのプレイヤーは発表されたアイデアを一斉に評価します。「いいね」を挙げた人が多ければ「成功」、少なければ「失敗」です。

3. 「成功」したら、「まちの声」カードと使用した**全てのカード**を手番のプレイヤーの手元に置きます。「まちの声」カード1枚につき、1ポイント。「まちの魅力」カードを使った場合は、2ポイント獲得。その後は、手札が3枚となるように、「まちの資源」山札から補充します。

4. 「失敗」の場合、他のプレイヤーは一度の「つけたし」のアクションを行うことができます。「つけたし」では、各プレイヤーの手元の1~3枚の「まちの資源」カードをつけたして改良したアイデアを発表することができ、「手順2.」以降と同じ流れで残りのプレイヤーが評価します。(但し、同じプレイヤーが、連続する手番のアイデアに対して、二回続けて「つけたし」を行うことはできません)

5. 最終的に、アイデアが「失敗」になった場合は使用した全てのカードは捨て札とし、各プレイヤーの手札の「まちの資源」カードが3枚となるように、「まちの資源」山札から補充します。

6. 「まちの魅力」山札から、1枚をめくって表にした後で、次のプレイヤーの手番となります。
*「まちの魅力」カードを使っていないアイデアだった場合は、場にある「まちの魅力」カードが1枚増えた状態になります。

7. 何周かしたら終了し、獲得したポイントが高かった人の優勝です。

8. 最後に、「成功」した中で、「一番やってみたくなった」アイデアを MVP として多数決で選びます。

*山札のカードがなくなったら、捨て札のカードを切って各山札に補充してください